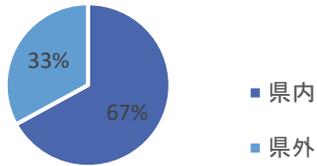


2025夏期しまね短期仕事体験 体験報告結果【参加学生】

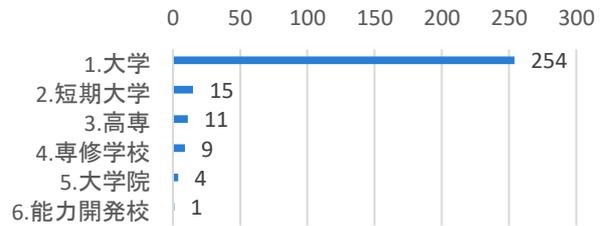
短期仕事体験参加者(実数):270名
短期仕事体験参加者(延数):315名

回答率:294/315名 93.3%
受入事業所数 : 179社

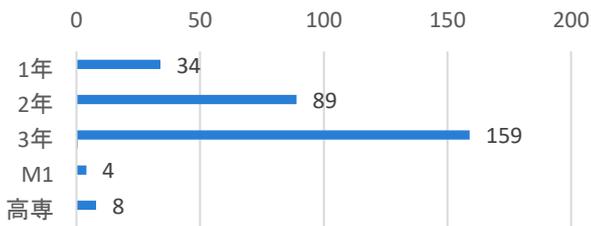
学校所在地



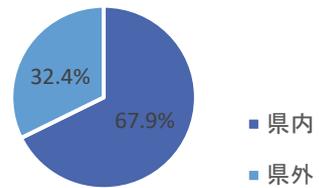
学校区分



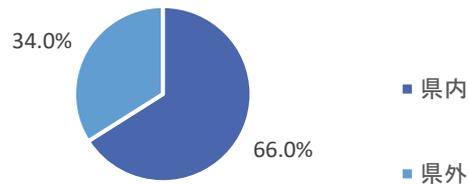
学年



出身地



現在の住まい



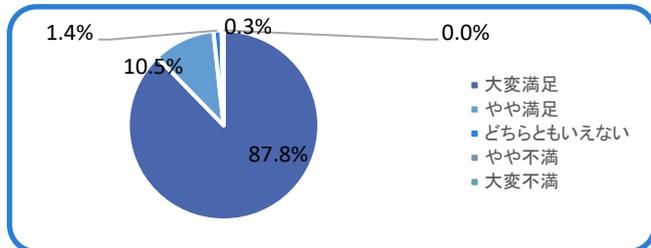
2025夏期しまね短期仕事体験 体験報告結果【参加学生】

問1 体験した実習内容(複数回答)

会社説明	267	【その他】↓
座談会	226	・施設、現場見学
実務	216	・企画
グループワーク	162	・街歩き
社員に向けたプレゼンテーション	113	・制作、体験
その他	26	

問2 体験プログラムの満足度について

	count	rate(%)
大変満足	258	87.8%
やや満足	31	10.5%
どちらともいえない	4	1.4%
やや不満	1	0.3%
大変不満	0	0.0%
合計	294	



問3 短期仕事体験参加の動機(最もあてはまるものを3つ選択)

就職活動に役立てたい	235	【その他】↓
働くことがどういうものか体験したい	202	・自分の興味のある業界を探したい。
希望する業種や企業の実務を体験したい	170	・自分に合う仕事を探すため
学んでいることが現場でどのように活かせるか知りたい	93	
希望とは違う業種や職種を体験して視野を広げたい	69	
単位取得のため	56	
学校・友人・家族に勧められた	22	
その他	6	

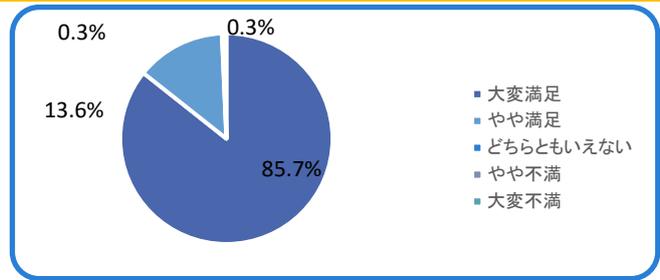
問4 短期仕事体験先を探す際に重視したこと(複数回答)

就職先として興味があった	163	【その他】↓
プログラム内容に興味があった	151	・自分が現在学んでいる内容がどう活かせるのか知
実践的な仕事が体験できる	132	りたかった
実習先までのアクセスを考えた	97	・好きなことが出来るのか
プログラム内容の詳細が記載されている	90	・ジョブカフェしまね職員さんからのおすすめされて
まだ知らない業界(業種)だった	50	
学業に支障が出ないこと(両立できる)	35	
大学教員、先輩、友人、家族に勧められた	20	
その他	4	

2025夏期しまね短期仕事体験 体験報告結果【参加学生】

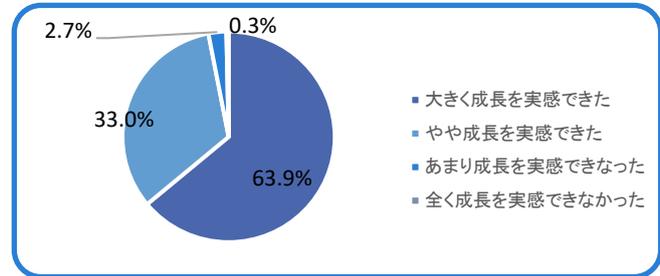
問5 短期仕事体験全体を通しての満足度について

	count	rate(%)
大変満足	252	85.7%
やや満足	40	13.6%
どちらともいえない	1	0.3%
やや不満	1	0.3%
大変不満	0	
合計	294	



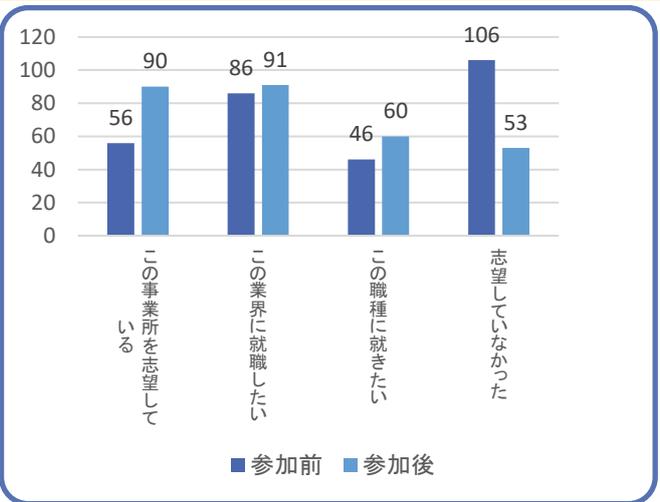
問6 短期仕事体験経験による成長

	count	rate(%)
大きく成長を実感できた	188	63.9%
やや成長を実感できた	97	33.0%
あまり成長を実感できなかった	8	2.7%
全く成長を実感できなかった	1	0.3%
合計	294	



問7 短期仕事体験前と参加後の就職志望度

	参加前	参加後
この事業所を志望している	56	90
この業界に就職したい	86	91
この職種に就きたい	46	60
志望していなかった	106	53
合計	294	294



記述1.印象に残っているプログラムの内容(抜粋)

【実務】

夕食配膳の体験が印象に残っています。お辞儀や笑顔、丁寧な言葉遣いなど、お客様に安心して過ごしていただけるようなおもてなしを学びました。

利用者の方々とレクリエーションの一環でクッキングをしました。見本を提示しながら、周囲の様子を確認し、補助にまわるなど、柔軟な対応能力が求められました。社会人としての所作を見て学ぶことができたと思います。

観光サミットに参加し、実際にイベント運営を担うことができた体験が最も印象に残っています。私は受付と進行補助を行いました。それぞれ難しかった点や改善点はあったものの、社員の皆様のサポートのもとで無事にイベントを終えることができました。100人規模のイベントに運営側として参加する貴重な体験ができたこと、またその中でイベント運営のポイントを学び、素敵な社会人の方々と交流ができたことが自身の成長へと繋がり、本当に良い体験をさせていただいたなと感じています。

実際に職員の方々と利用者の方々が共同で働いている現場にはいって同じ作業をしたことです。焼き菓子づくりのための軽量や梱包をしたり、金属部品を組み立てる軽作業をしました。

【同行、現場の見学】

松江まちづくりを考える日のライブ動画配信業務、ホワイエコンサートの運営の見学をさせていただきました。裏方の仕事を間近で見させていただき、ひとつの本番の裏で、たくさんの方が尽力しておられるのを感じることができました。

神戸川の地盤工事が行われている場所を見学しました。この現場ではARやVRを用いて現場の安全意識の向上に努めており、その様子を見学したり、実際にVR装置を使用させてもらったりしました。

お菓子のメーカーさんとバイヤーとの商談見学

【コンテンツ開発、システム改修】

ノーコードツールを用いたアプリ開発。

Rubyを使って、チームワークを通じてwebアプリを開発しました。

【企画・体験】

パラスポーツ体験

スラロームと呼ばれる、手動・電動車いすで三角コーンの間を前進・後進・周回してゴールを目指す競技に取り組みました。また、目をアイマスクで隠して音の鳴るボールを使用したゴールボール競技も行いました。実際に体験し、私達の手足や視覚がいかに重要な部位であることを実感しました。一般的なスポーツと異なり、パラスポーツならではの決まりがありますが、その1つ1つが奥深く、汗をかくこともできるほど充実したものでした。

広報について実務レベルでアイデアを出して、3日目に社員の皆様に向けたプレゼンをするというものでした。大学はあまり金銭面の話題はありませんが、企業で広報をするとなるとお金のこと、ヒット率など、大学ではなかった視点を含めて考える必要があったので、刺激的でした。

試験部にて結晶の品質検査を体験させていただいたこと。

社員に向けたプレゼンテーションとして、インターネットサポート力の強さを伝えるCM制作を2人1組で行いました。構成、出演、ナレーションまで行い、緊張や恥ずかしさもありましたが良い作品を制作することができました。

小学校の始業式の取材に同行したことです。まず学校で式や学校活動の様子を取材し、会社に帰った後アナウンサーの方が話す原稿を書き、撮影した映像を編集しました。その日の夕方に生放送のため、取材後から放送までの時間が短くて驚きました。

VR体験が最も印象に残った。球場の様子をVRで確認した。このような技術が進んでいることに大変驚いた。

劣化部調査

コンクリートの劣化している部分を棒で叩いて打診するもの。

バイキングの案内係。何時間も練習を重ねて、できるようになった時はとても嬉しかったから。

【社員との交流】

空き家の見学に行かせて貰って、観光地のすぐ近くに空き家があったり、普段通っている道から少し入った所に空き家があったりした点に驚いたと共に印象に残りました。空き家対策室の方が管理されていない空き家の増加を防ぐと仰っておられて本当にその通りだと感じた。

職員の方々と座談会が特に印象に残っています。学生数人のグループがいるテーブルに対して、職員の方がテーブルに一人ずつローテーションで回ってきてくださり、業務や福利厚生、就職活動について、様々なお話をいただきました。職員の方と近い距離でお話させていただくことができ、業務についてより理解を深めることができました。

若手職員さんとの意見交換会が印象に残っています。働き方やこの仕事を選んだきっかけなど普段は聞けないことまで教えていただきました。

【その他】

仕事に対してやりがいを感じるために必要なことを考えるグループワーク。

農地でドローンを飛ばし、農地が地域計画と同じ状態で耕作されているか確認する業務。

記述2.体験プログラムに対する満足度の理由(抜粋)

プログラム内で店舗での接客やその他の業務や、実際の現場に同行してどのように他者と接しているのかなど、幅広い面で仕事というありかたについて知ることができたから。また、仕事内容が私が今まで学んだり経験したことのないような業種だったこともあり、自分にできることやどんなことをするか心配だったが、接客や人とのコミュニケーション力などが庭や雑貨の整理だけではなく、必要であると分かり、楽しく体験をすることができたから。新しいガーデニングなどにも挑戦することができたので、自分の視野が広がったと感じたから。

ブランディングはとても難しかったが、様々な役職の方に質問をし、詳しく話を聞いた上で案を考えることはとても勉強になった。

CMを企画・作成して、形にできた達成感があった。営業課の方に喜んでいただけたことも嬉しかったため。技術・営業課の方とお客様のお宅へ訪問して、地域に密着した、手厚いサポートをしている企業だとわかった。

現場での課題や工夫を直接肌で感じる事ができたからです。講義や資料だけでは分からない、農業や地域活動の現場での苦労や工夫を実際に見聞きすることで、課題の背景をより深く理解することができました。また、現場で働く方々の考え方や姿勢に触れ、自分自身の今後の学びや成長につなげたいと強く感じました。

1人の社員として、社会人として、どういう心構えで課題に向き合えば良いのか、プログラムを通して教えていただきました。プレゼンの後に皆様から感想・ご指摘をいただき、フィードバックがあったことも次のステップに進むために役に立つと思います。

実務や社員の方へのヒアリング、観光地の見学など幅広い体験ができて良かったから。私の要望を聞きながらプログラムを考えてくださったから。

今回の仕事体験は、会社の新店舗を立ち上げるタイミングで新店舗企画のプレゼン発表を行ったので、より実現可能性を考慮したプレゼンを行うことができました。参加した学生の提案を、本当に実現させたいという思いで受け取ってくださったので、充実感や達成感をより強く感じた仕事体験でした。

信用金庫の概要から融資営業、渉外活動まで内情を知ることができました。それまで、営業はノルマがあって堅いイメージでしたが、実際を目にすると全くそんなことはなく、信用金庫だからこそのお客様との信頼性を大切にしたいという思いを知ることができました。

このような機会でなければ入ることのできない場所に入ったり、見ることのできない仕事の様子を見たりして、普段見ているテレビの裏側を見ることができたからです。

記述3.体験先の担当者・社員との接点の満足度の理由(抜粋)

【ポジティブな理由】

若手人材育成研究会での研修の参加や、ランチミーティングなどで、年齢の比較的近い職員の方と話す機会があり、普段聞きにくいことなども気軽に質問できたりして、市役所を目指すにあたって、心構えだけでなく、面接でのコツや大学での在り方を教えていただきました。またどの部署の方も気さくに話してくださり、分からないことを質問しやすい環境を作ってくださいました。

自分たちの意見を今後のイベントに取り入れようとしていただけるとても嬉しかったです。

仕事の性質上コミュニケーション能力が求められる中、職員の皆様の温かい雰囲気とご指導のおかげで、介護職の方に限らず、仕入業者の方や看護師の方ともお話する機会を得られたから。

積極的に話しかけてくださり、私の話にも共感してくださってとても話しやすかった。また、こちらの質問についても丁寧に回答してくださり、業務内容や就活の理解につながった。

働いておられる方々がとても優しく、作業の見学をしているときも今何をしているのか、どんなことに意識しているかなど教えてくださいました。

話しやすい雰囲気づくりを心がけてくださるなど、私達を非常に気遣ってください、質問にも真摯に答えてくださったから。それまでの仕事体験での交流を通じて最終日に企業の担当者様から、一人の大人として学生に応援のお言葉やアドバイスいただくことができ、就職活動について前向きに捉えられるようになったから。

優しい方ばかりで年齢の近い社員さんも多く、色々なことを質問しやすかったため。就職関係以外のことでもアドバイスをいただいたり、ちょっとした雑談もできたのがよかった。

最終日に体験を踏まえての振り返りの機会を設けていただき、3日間で印象に残ったことや普段どんなことを意識して働いているのかなどを知ることができたから。

先輩社員との座談会では同じ学科の先輩とお話させていただき会社のことはもちろん大学の研究室のことや先輩からの就活のアドバイスをいただきました。非常に貴重なお時間をいただき満足いく接点でした。また、担当の方ともお昼ご飯に誘っていただき、コミュニケーションをとる機会も多かったです。

うまく行かなかった時、横でできるまで優しく丁寧に教えてくださったり、他の業務も丁寧に説明、指導してください安心して作業することができました。

【ネガティブな理由】

担当者とは満足に関わることはできたと考えるが、他の社員とは関わる機会が少なかった。

記述4.「しまね短期仕事体験」全体を通じた満足度の理由(抜粋)

仕事というものがどのようなものなのかということを実感する機会があまりないので、この仕事体験という機会に実際の職場で業務を行えることが非常に仕事に対してのイメージが以前に比べてポジティブなものに変化したから。そして就職活動をする前にこのような経験ができたことで、今後のためにも良い経験になったと感じたから。また、コミュニケーションシートというものを事前にお渡しして、自分に最終的にフィードバックとして返ってくるのが、自分の良さやこれからどうしたらいいのかということも事業所の方からの声をいただけたことで、自分についても理解を深めることができたと感じたから。

業務の流れを知るだけでなく、自分で考えて発表する機会も多く与えていただき、理解がより深まりました。

グループワークを行う中で同じ目標を持った仲間と出会い、いい仲間ができた。実際行っている業務を仕事体験で学ぶことができている体験になってよかった。

仕事体験に参加する前は、イベント運営などの業務にあまり関心を持っていませんでした。しかし、実際にイベント運営を経験し、また社員の皆様の働く姿を間近で見たことで、イベント企画・運営の仕事にも興味を持ちました。苦手意識のあったプレゼン発表も、今回の仕事体験を通じて克服できたと感じます。コミュニケーション力や提案力、理解力なども成長させることができたので、非常に満足しています。

私はまだ将来のことが決まっていません。将来のことを考えるときに仕事内容や給料など、言葉で表せる要素にばかり焦点を当ててしまっていたのですが、実際に働いておられる姿を見て温かい雰囲気や適度な緊張感といったような言葉で表せないことの大切さを感じました。

記述5.体験事業所への要望

【プログラム内容や実習中について】

a.b.cのグループがあったが、グループによっては行けてない場所もあったので、みんなが公平に同じ場所を経験できると尚良かったかと思う。

もう少し業務内容を体験する機会があれば良いなと思った。

日御碕を1時間程度歩くプログラムがあったが、暑くて体調が悪くなりそうだったので、もう少し時間を短めにしてほしい。

最後の企画提案が非常にバタバタして終わってしまったため、もっとゆとり時間をとっていただけるととてもありがたかったです。

実際の業務をさらに体験できる時間があるとより理解が深まると感じました。

部署の数も多く、予定の関係もあるとは思いますが、実際に行きたい部署の希望をとっていただけるといいと思った。実際の業務に近い体験が増えたら良いと思った。

様々な業務に就いておられる方の1日の仕事の流れを広く知りたいと感じた。

【コミュニケーション取りたい】

職員との座談会の時間ももっとほしいです。

気を遣ってくださることがとても多かったので、知らないのうちに失礼な言動をとってしまったのではないかととても不安になりました。

可能であれば、気を遣わずに良くないことは良くないと、言っていただけるとありがたいと感じました。

【実習時間や休憩、送迎について】

送迎してほしい。質問しやすい雰囲気を作ってほしい。夏にスーツはかなり厳しいから、せめて「スーツしんどいよね、頑張ろう」などの声かけがほしい。もっとくつろげる休憩場所を用意してほしい。「水分補給行ってね」と言われても水分を置いている場所が遠いし、声をかけにくいから行くことができなかった。そのため、熱中症の症状が出た。

集合時間や解散時間によっては、1時間ぐらい待ったり、バスに間に合わないということがあったので、幅を持たせてくださるとありがたかったと思いました。

行き・帰りの送迎があるとよかった。

集合場所が交通の便があまりよくないところが多く、朝早く出発することが多かったため、もうすこし開始時間を遅らせてほしいです。

松江支社と送迎ありの出雲営業所のみでの体験でしたが、米子本社での体験を予定されている場合は、日程を前半のみ又は後半のみに固めるか、御社のほうに送迎をしていただきたいです。その旨をジョブカフェしまねの事業所詳細のほうに書いていただくと、事業所を選ぶ際に考慮する材料になるので、そうしていただけると幸いです。